

魚津市公共施設等総合管理計画

個別施設計画

I 公共施設

E 社会教育・文化施設

3 博物館

(埋没林博物館)

令和6年5月改訂

魚津市

(所管部署：魚津埋没林博物館)

# 目 次

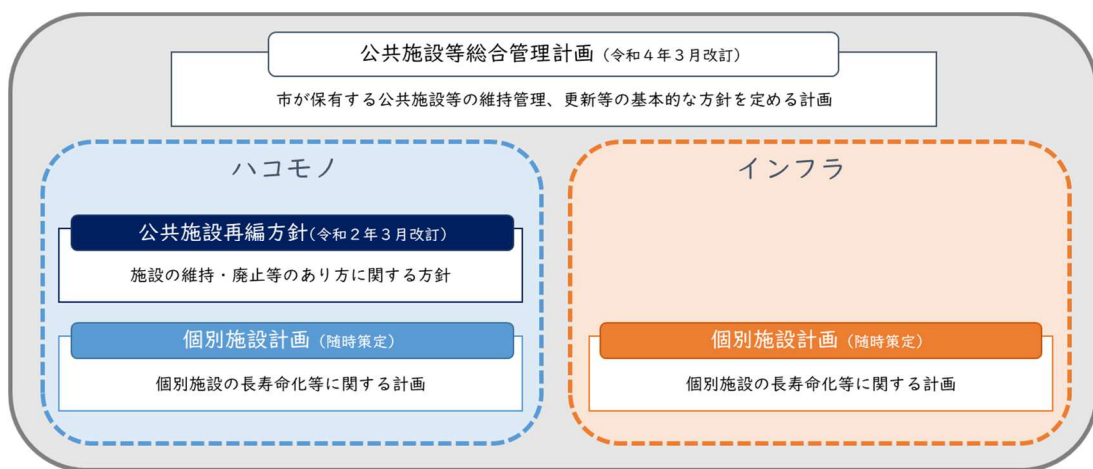
1	個別施設計画策定の趣旨及び概要	
1. 1	策定の趣旨	P 1
1. 2	対象施設	P 1
1. 3	計画期間	P 1
1. 4	進行管理	P 1
2	施設の状況	
2. 1	老朽化の状況及び改修状況	P 2
2. 2	位置図	P 3
2. 3	施設の利用状況及び収支の状況	P 4
3	個別施設の方針	
3. 1	施設の役割	P 5
3. 2	現状と課題	P 5
3. 3	今後の考え方	P 6
3. 4	対策内容と実施時期	P 8
3. 5	対策費用	P 8

## 1 個別施設計画策定の趣旨及び概要

### 1. 1 策定の趣旨

本計画は、魚津市公共施設等総合管理計画（令和4年4月改訂版。以下、「管理計画」という。）に基づき、施設類型ごとの具体的な方針や長寿命化計画などを示すものです。

#### 魚津市における公共施設等総合管理の概念図



### 1. 2 対象施設

対象施設は、管理計画における「埋没林博物館」とします。

### 1. 3 計画期間

計画期間は、20年間とします。

### 1. 4 進行管理

本計画に基づく進捗確認を毎年度行い、達成状況や財政状況などを踏まえて対策内容と実施時期を見直すことにより、計画的な改修等に努めます。

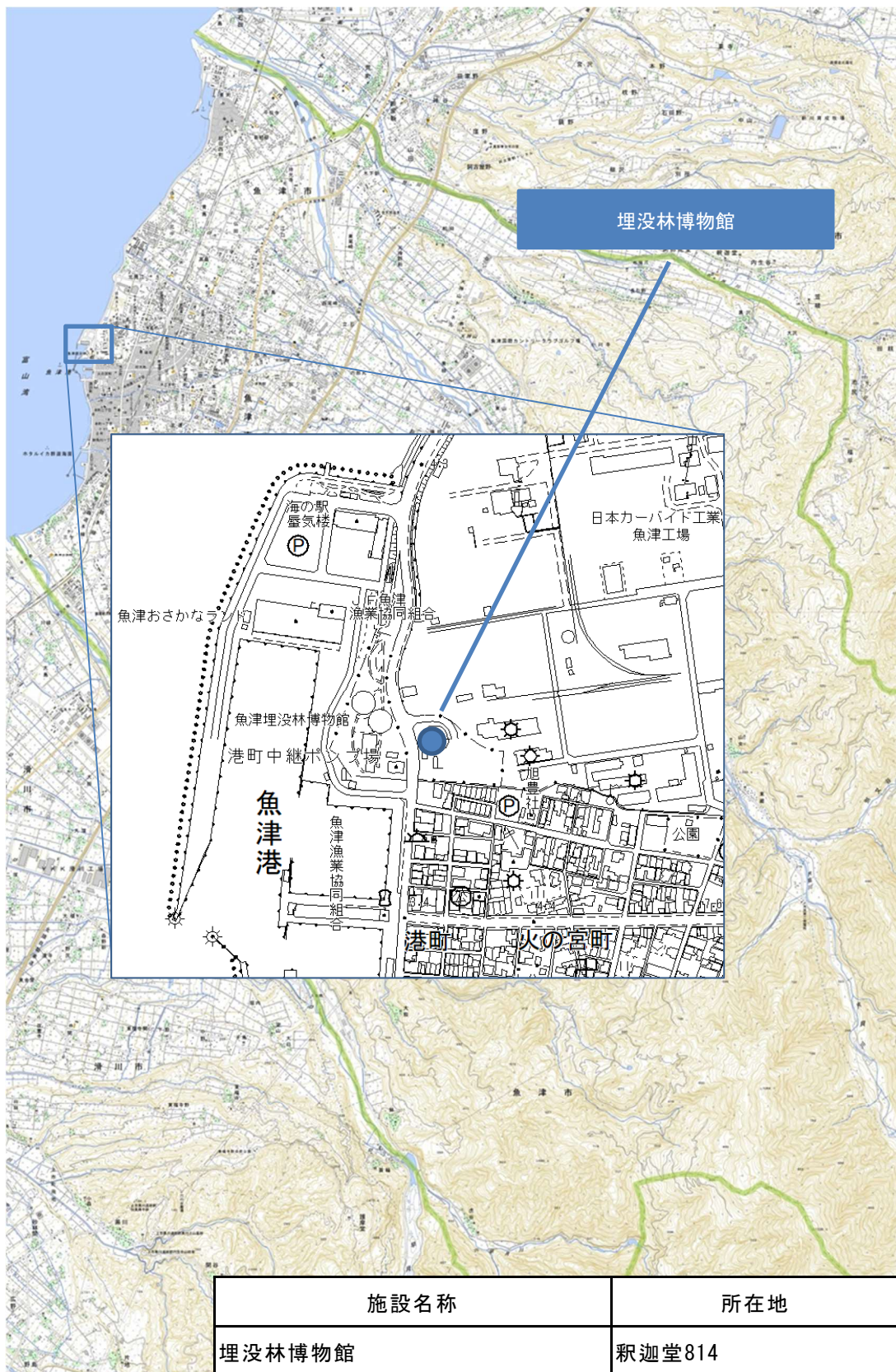
## 2 施設の状況

### 2.1 老朽化の状況及び改修状況

No	施設名称	建設年度	経過年数	構造 / 階層	延床面積 (㎡)	敷地面積 (うち借地) (㎡)	資産老朽化比率	劣化状況	改修状況				
									耐震化改修	長寿命化改修			
										屋根	外壁	他	
1	魚津埋没林博物館	H3	31	管理棟	S/1	319.34	16,336 (9,104)	82.1%	・ガラス枠の腐食が見られる ・防水塗装の剥離が見られる	不要	・屋根防水工事 (H12)		・ガラス枠補修 (H23) ・連絡通路防水 (H25) ・鉄骨塗装、建具交換 (H26) ・部分改築、鉄骨塗装 (H29) ・鉄骨塗装 (R3)
				中央連結通路	RC/1	115.44			・建物とのジョイント部分での漏水が見られる			・漏水補修 (H9) ・防水補修 (H24)	
				テーマ館 (1階)	RC/3	567.95		70.2%	・外壁塗装の劣化・剥離 ・2階映像ホール天井等の塗装剥離(3階屋根防水劣化の影響) ・乾燥展示館からテーマ館連絡通路のテント支柱の腐食、塗装の剥離		・屋根防水工事 (H13) ・屋根防水工事 (R3)	・外壁・メインポール塗装 (H12) ・外壁塗装 (R3)	・内外壁塗装(部分)、建具交換ほか (H26) ・テーマ館冷水発生機更新 (R3)
				テーマ館 (2階)		605.46							
				テーマ館 (3階)		156.62							
				乾燥展示館	S/1	136.41		80.6%	・海側壁面サッシ目地からの漏水			・外壁塗装ほか (H26)	・屋外通路部分改修、鉄骨塗装 (R3)
				水中展示館 (地下1階)	S/3	116.53		80.9%	・地下1階結露による壁内部鉄筋の錆 ・屋根の部分的漏水 ・結露による照明設備等の劣化 ・海側壁面サッシ目地からの漏水 ・結露による鉄骨の錆			・外壁・床面塗装ほか (H26)	・屋外通路部分改修、鉄骨塗装 (R3)
				水中展示館 (1階)		339.25							
				水中展示館 (2階)		277.02							
				ドーム館 (地下1階)	RC/2	578.59		66.9%	・地下水及び浸透雨水の漏出 ・ドーム館からテーマ館連絡通路のテント支柱の腐食、塗装の剥離		・屋根葺き替え (H13)		・漏水補修、床面塗装 (H9) ・床面塗装 (H26) ・屋外通路部分改修、鉄骨塗装 (R3)
ドーム館 (1階)	232.72												
その他	RC/1	144.36											
	合計				3589.69	16,336	78.7%						

※ 経過年数・資産老朽化比率等は、令和4年度末時点

## 2. 2 位置図



### 2. 3 施設の利用状況及び収支の状況

No	施設名称	利用状況（人）			収支（千円）											
		R2	R3	R3	R2				R3				R4			
					収入	支出	収支差額	【参考】 減価償却費	収入	支出	収支差額	【参考】 減価償却費	収入	支出	収支差額	【参考】 減価償却費
1	魚津埋没林博物館	17,842	19,154	27,453	9,452	74,526	▲ 65,074	19,454	9,725	74,889	▲ 65,164	24,138	22,193	88,379	▲ 66,186	25,510

令和2年度以降は、新型コロナウイルス等の影響で利用が減少しました。

### 3 個別施設の方針

#### 3.1 施設の役割

---

国の特別天然記念物である「魚津埋没林」の保存・展示や、江戸時代から知られる「蜃気楼」に関する展示等、他の地域にない特色を持った博物館として、魚津市民をはじめ全国からの利用者を受け入れています。また地域の博物館として、埋没林や蜃気楼を含めた魚津市の自然に関する調査研究、資料の収集・展示、教育普及等に努めています。館が実施する企画展やイベント、蜃気楼のネットワークを用いて全国の参加者との交流を持つこと等で様々な情報が発信され、多くの方が生涯学習施設として利用することで博物館の役割を果たします。

#### 3.2 現状と課題

---

(現状)

当館は平成4年度に建設され、開館時より特別天然記念物「埋没林」及び蜃気楼に関連する常設展示、企画展、博物館教室やジオパーク普及講座を開催し、魚津の自然への理解促進に努めています。

平成26年度と平成29年度には、館として魅力を高め入館者増に向けて施設のリニューアルを実施しました。

(課題)

平成4年度の開館から30年経過し、高額な機械設備（エレベーター等）の寿命に伴う更新・延命策、建物本体及び付帯施設等の老朽化対応等が必要となっています。

### 3. 3 今後の考え方

---

#### ①施設の方針（魚津市公共施設再編方針（令和6年改訂版）抜粋）

##### ■博物館（全3館）

<再編方針（共通）>	目標年度：長期（R21）
○中・長期的に施設の再編を図り、魚津の地形や富山湾の特性を活かした3館の事業を連携しながら、引き続き維持していく。	
○整備や運営については、民間活力の活用を図る。	

##### ■埋没林博物館

<再編方針>	目標年度：長期（R21）
○特別天然記念物指定の関係から、既存の場所で、施設の整備・補修計画に沿って、施設の長寿命化を図りながら、引き続き維持する。	
○社会環境の変化に応じて、利用料金の定期的な見直しを行う。	

#### ②対策の優先順位の考え方

基本的には、建築年度又は長寿命化改修実施年度からの経過年数が大きい施設から優先的に対策を実施するものとしますが、点検結果や施設の利用状況等の要因により実施時期が前後する場合があります。

また、市の財政状況を見ながら、対策に係る経費が平準化されるよう、計画的に対策を実施するものとします。

#### ③保有総量の抑制について

社会情勢の変化をふまえ、サービス水準を出来る限り維持しながら公共施設の総量を抑制するため、施設の維持更新にあたり、機能集約や複合化を検討します。

#### ④施設の長寿命化について

施設の長寿命化を図るため、事後保全的な維持管理から予防保全的な維持管理に転換します。



施設の目標使用年数を60年以上とし、施設の長寿命化改修は建築年度から20年及び40年を経過する年度から5年以内を目途に実施するものとします。

#### ⑤社会的なニーズへの対応について

施設の長寿命化改修に併せ、バリアフリー化、ユニバーサルデザイン化、施設の脱炭素化等に係る改修を実施するものとします。

ただし、経費の平準化や社会的要請の高まり等の要因により個別に対応を実施する場合があります。

### 3. 4 対策内容と実施時期

No	施設名称	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15	R16	R17	R18	R19	R20	R21	R22	R23	R24	R25	
1	埋没林博物館	適切な維持管理・改修等を実施し、長寿命化を図る																				
	(管理棟) 連絡通路を含む																			⑤0		
	(テーマ館)																			⑤0		
	(乾燥展示館)						③8	長寿命化により使用期間を延伸														
	(水中展示館)						③8	長寿命化により使用期間を延伸														
	(ドーム館)	5	百万円(ドーム館、管理棟防水改修)																		⑤0	
	(その他)	8	百万円(井戸設備サンドサパレータ設置)																			
合計	13																					

※ ③8・⑤0は、減価償却資産の耐用年数（鉄骨造は、38年。RC造は、50年。）を表しています。

※ 本計画は、適切な長寿命化改修を実施することにより、減価償却資産の耐用年数を超えて施設を利用することを目指すものですが、老朽化度調査等の結果を基に、長寿命化改修の実施有無や利用期間などが変更となる可能性があります。

※ 本計画における長寿命化改修や建替え等については、市の財政状況を見ながら、対策に係る経費が平準化されるよう、計画的に対策を実施するものとします。

### 3. 5 対策費用

計画期間における概算費用は、施設類型全体で約4億4千万円です。ただし、現在の市の財政状況では全ての対策を実施することは困難なため、市の公共施設全体で統廃合や複合化を更に推進し、総量縮減を図る必要があります。